



貨幣の世界

4

明治以降、日本で使われる貨幣は、基本的に「円形」です。日本の通貨単位が「円（圓）」となった理由が、維新の英傑の一人で早稲田大学を創設した大隈重信が、指で輪を作ったことに由来しているという説もあるくらいです。しかし、広く世界を見渡すと、貨幣同士の識別を簡単にするためや偽造防止のために、あるいは、貨幣収集家向けにさまざまな形の貨幣が生み出されています。今回は、近現代に登場した角がある形「多角形」の貨幣に注目してご紹介します。

形

その3

現代の貨幣 国もいろいろ形もいろいろ (1)

三角形

「智に働けば角が立つ」とは夏目漱石の小説『草枕』の一節ですが、三角形の貨幣では、角が立ち過ぎて指にひっかかりそう

ですし、転がりにくいので自動販売機で詰まりそうですし、日常使いの貨幣の形として扱いづらいかと思われま

れる貨幣として流通していません。その中から、フィリピンとオランダの貨幣をご紹介します（写真3、4）。

そんな三角形の貨幣を日常的に使う貨幣に採用した国が世界にただ一カ国あります。日本からはるか南に八〇〇〇キロ、南太平洋に浮かぶ島国クック諸島です（写真1）。

また、収集家向け記念貨幣には、正四角形だけでなく、長方形のものもみられます（写真5）。

五角形

記念貨幣であれば、使用されることを前提としていないためか、世界を見渡すといくつかの国から三角形の貨幣が発行されています。その中から、バルト海に臨む北欧の国エストニアの貨幣をご紹介します（写真2）。

「★」や五芒星ごぼうせいも含めればよくみかける五角形も、こと貨幣となると三角形同様に希少です。日常使いの貨幣は、アラビア半島の南端に位置するイエメンにおいて使われていた程度といわれています（写真6）。

六角形

（写真2）。

四角形同様に、インド等の南アジア諸国で

四角形

四角形の貨幣は、日本では近代以前の江戸幕府が発行した一分金程度ですが、諸外国では、近現代においても日常的に使用さ

日常的に六角形の貨幣が使われていました。今回は、それと同じ形の記念貨幣をご紹介します（写真7）。

今回はさらに「角」が立ちます。

写真1 クック諸島 2ドルアルミ青銅貨（2015年発行）



角こそ丸めているものの、正三角形です。表面は、他の多くの英連邦諸国同様に元首であるエリザベス二世女王です。裏面は、同国の伝統的民具である「すりこぎ」とそのためのテーブルがデザインされています。ちなみに、同じデザイン、大きさ、額面で白銅貨も発行されていました。（直径約23.9mm、重量7.6g）

写真5 フランス 1/4ユーロ銀貨 (2007年発行)



長方形を絵のキャンパスに見立てた貨幣です。フランス第三共和国期に活躍した画家エドガー・ドガの肖像および彼の代表作の一つである「エトワール」(1878年頃作)の一部が使われています。なお、この銀貨はユーロ貨幣ですが、フランス国内でのみ通用するものです。フランスは自他ともに認める芸術の国だけあって、美術関係のテーマに基づく収集家向け貨幣が多数発行されています。この形の貨幣に限っても、ルノワール、カンディンスキー、ブラック、ピカソといった画家が取り上げられています。(21×30mm、重量15g)

写真6 イエメン 1/8アーマドリアル銀貨
(発行期間ヒジュラ歴(イスラム歴)1367~1380年注)



(直径約19.9mm)

注:ヒジュラ歴(イスラム歴)1367年1月1日は、西暦1947年11月15日。また、ヒジュラ歴1380年12月31日は、西暦1961年6月14日となります。

写真7 インド 20パイサルアルミニウム貨 (1983年発行)



貨幣の表面にFISHERIES、FAOという文字が見えます。1984年、FAO(国連食糧農業機関)がローマにおいて漁業に関する国際会議を開催することを記念し、インドをはじめいくつかの国が、1983~1984年にかけて記念貨幣を発行しました。(直径約26mm、重量2.3g)

(写真はすべて個人蔵)

写真2 エストニア 100クローン金貨 (2007年発行)



ほぼ純金のこの貨幣は、エストニアの通貨単位クローン(Krooni)が、同国で再導入されて15周年を記念して発行されました。エストニアは、1918年にロシアから独立し、クローンを通貨単位として採用しました。1940年、ソビエト連邦に占拠され、1990年に再独立しました。なお、エストニアは、2011年よりユーロを導入しています。(一辺約27mm、重量7.78g)

写真3 フィリピン 1センチモアルミニウム貨
(発行期間1975~1978年)



この貨幣にデザインされている男性は、その面に小さく印されているLapu-Lapuという名の人です。彼の名を冠したフィリピンLapu-Lapu市のホームページによると、1521年、世界一周の途上のマゼランを打ち負かした同地のムスリム(イスラム教徒)の王とのことです。(一辺約19mm、重量1.22g)

写真4 オランダ 5セント白銅貨 (発行期間1913~1940年)



オランダ王国という旨の刻印がオランダの花を囲んでいます。ちなみに、オランダ王室オラニエ=ナッサウ家のオラニエは、英語ならばオレンジです。(直径約21.3mm、重量4.5g)